

【「6つのルールと18の書き方」を使ってみよう】

「6つのルールと18の書き方」に関し、以下の表の中で着色した7つの書き方についてこれらの使い方を解説します。

- ①以下の表の中で赤字になっている書き方は、修正前（Before）と修正後（After）の比較でこれらの書き方の使い方を解説します。
- ②以下の表の中で青字になっている書き方は、それぞれの書き方を使って書いた例でこれらの書き方の使い方を解説します。

【6つのルールと18の書き方】

ルール		書き方と内容	
ルール1	冒頭に書く	書き方1	要点を冒頭に書く
		書き方2	全体像を冒頭に書く
		書き方3	枠組みを冒頭に書く
ルール2	ペアで書く	書き方4	根拠を書く
		書き方5	条件を書く
ルール3	分けて書く	書き方6	かたまりに分けて書く
		書き方7	箇条書きで書く
		書き方8	表で書く
ルール4	視覚的に書く	書き方9	写真や図を入れて書く
		書き方10	強調して書く
		書き方11	まとまりを持たせて書く
ルール5	合わせて書く	書き方12	組み合わせで書く
ルール6	明確に伝わる文を書く	書き方13	具体的な文を書く
		書き方14	意味が明確な文を書く
		書き方15	能動態の文を書く
		書き方16	短い文を書く
		書き方17	肯定文を書く
		書き方18	文法を守って文を書く

■「ルール1：書き方1（要点を冒頭に書く）」を試してみる

- ◆書き方1の考え方：内容に関する要点を冒頭に書き、この要点に関する説明をその後に書くこと

【修正前（Before）】

1. キャッシュレス化のメリット

キャッシュレス決済にすれば、閉店後に行う集計時の現金の確認や売上金の銀行への入金などが省ける。また、現金を夜間金庫に預けることもなくなる。すなわち、現金管理業務の効率化が図れる。キャッシュレス決済にすれば、現金とお釣りの受け渡しができないため素早く決済ができ、かつ、キャッシュレス決済をする人が増えればレジでの持ち時間が短くなる。すなわち、キャッシュレス決済のメリットとは、「現金管理業務の効率化」と「スピーディーな決済の実現」である。

【修正後（After）】

1. キャッシュレス化のメリット

キャッシュレス決済のメリットとは、現金管理業務の効率化とスピーディーな決済の実現である。キャッシュレス決済にすれば、閉店後に行う集計時の現金の確認や売上金の銀行への入金などが省ける。また、現金を夜間金庫に預けることもなくなる。すなわち、現金管理業務の効率化が図れる。キャッシュレス決済にすれば、現金とお釣りの受け渡しができないため素早く決済ができ、かつ、キャッシュレス決済をする人が増えればレジでの持ち時間が短くなる。

【修正のポイント】

ゴシック体で書いてある内容が「1. キャッシュレス化のメリット」の内容に関する要点です。明朝体で書いてある内容がこの要点に関する説明です。**内容に関する要点を冒頭に書き、この要点に関する説明をその後に書きました。**

「結論を先に書く」という書き方も書き方1と同じ考え方です。

■「ルール2：書き方4（根拠を書く）」を試してみる

- ◆書き方4の考え方：書き手が決めたこと（決定事項）あるいは書き手が判断したこと（判断事項）を書いたら、決定事項あるいは判断事項とこれらの根拠を各々ペアで書くこと

【修正前（Before）】

A社の解析ソフトとB社の解析ソフトの比較の結果、B社の解析ソフトの購入を決めた。B社の解析ソフトはA社の解析ソフトに比べて優れていたからだ。

【修正後（After）】

A社の解析ソフトとB社の解析ソフトの比較の結果、B社の解析ソフトの購入を決めた。B社の解析ソフトはA社の解析ソフトに比べて以下の点で優れていたからだ。

- ①部材や荷重などの入力値の入力方法がわかりやすいこと
- ②入力値のチェック機能があること
- ③解析結果のチェック機能があること
- ④解析結果の出力方法に様々なメニューがあること

【修正のポイント】

修正前では、B社の解析ソフトの購入を決めた根拠として「A社の解析ソフトに比べて優れている」と書いてあります。しかし、この根拠では決定事項が明確に伝わりません。修正後のような具体的な根拠を書くことで決定事項が明確に伝わります。決定事項や判断事項が明確に伝わる根拠を書くことが書き方4を使うときのポイントです。

■「ルール3：書き方6（かたまりに分けて書く）」を試してみる

- ◆書き方6の考え方：かたまりに分けて内容を書くこと

【修正前（Before）】

【〇〇市の特徴】

里山の風景を残した緑豊かな自然環境を保護していることです。〇〇市の市民は、四季を通じて里山の美しい風景を見ることができます。また、〇〇市の基幹産業は農業です。農産物は多品目ですが、特に、△△の生産量は日本一であり、その生産額は〇〇市の農業生産額の◇◇%を占めています。〇〇市の郊外に行くと△△を栽培している農家を多数見ることができます。更に、〇〇市では高齢化が急速に進んでいます。〇〇市の人口は令和◇年◇月現在約◇◇人ですが、高齢者の人口は約◇◇人でこれは〇〇市の全人口の◇◇%を占めています。そのため、〇〇市では高齢社会対策を進めています。

【修正後（After）】

【〇〇市の特徴】

◆緑豊かな自然環境

里山の風景を残した緑豊かな自然環境を保護していることです。〇〇市の市民は、四季を通じて里山の美しい風景を見ることができます。

◆農業が基幹産業

〇〇市の基幹産業は農業です。農産物は多品目ですが、特に、△△の生産量は日本一であり、その生産額は〇〇市の農業生産額の◇◇%を占めています。〇〇市の郊外に行くと△△を栽培している農家を多数見ることができます。

◆高齢化の急速な進行

〇〇市では高齢化が急速に進んでいます。〇〇市の人口は令和◇年◇月現在約◇◇人ですが、高齢者の人口は約◇◇人でこれは〇〇市の全人口の◇◇%を占めています。そのため、〇〇市では高齢社会対策を進めています。

【修正のポイント】

かたまりの見出しを付けたうえで内容をかたまり分けて書きました。かたまりの見出しを付けることが書き方6を使うときのポイントです。

■「ルール4：書き方9（写真や図を入れて書く）」を使ってみる

◆書き方9の考え方：内容に関する写真や図を入れて書くこと

【修正前（Before）】



【修正後（After）】



道幅が狭いので、自動車の運転手は
歩行者や自転車に注意する。

【修正のポイント】

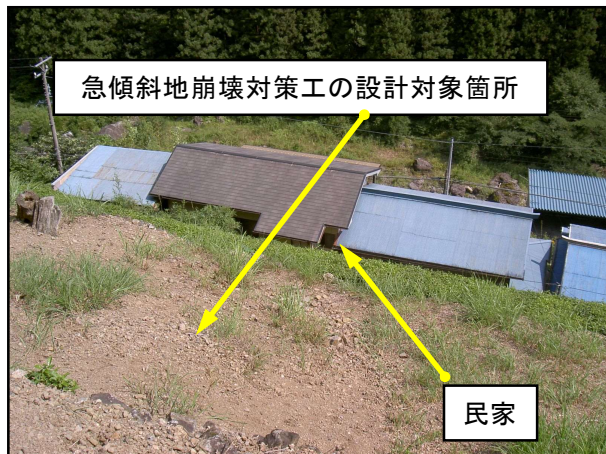
写真に関して読み手に伝えたいことを簡潔にこの写真に書き加えました。読み手に伝えたいことを写真や図に簡潔に書き加えことが書き方9を使うときのポイントです。

■「ルール5：書き方12（組み合わせて書く）」を試してみる

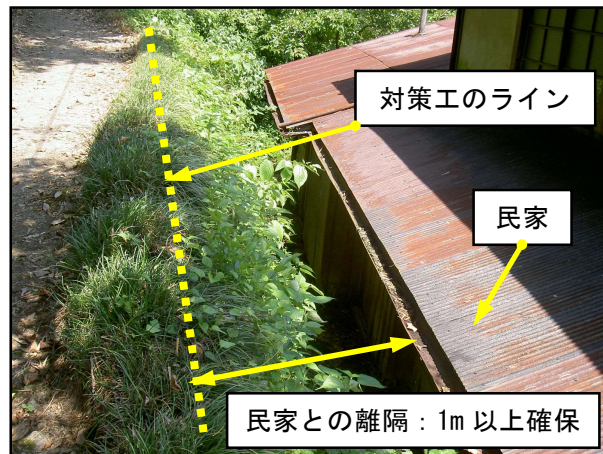
◆書き方12の考え方：ある部品を一層明確に伝えるために部品^{注1}を組み合わせて書くこと

【現場状況写真】

写真①



写真②



写真③



表-1 設計上のポイント

写真番号	現場状況に基づく設計上のポイント
写真①	急傾斜地崩壊対策工として、現場状況から、鉄筋挿入工およびグラウンドアンカー工を計画する。
写真②	急傾斜地崩壊対策工を民家の背後で計画する。このとき、対策工と民家との離隔を1m以上確保する。
写真③	部分的に表層崩壊が発生しているため、急傾斜地崩壊対策工の施工に対しては、表層崩壊が進行しない施工手順を考える。

【修正のポイント】

写真の内容を明確に伝えるため、写真と表を組み合わせ、A4判の用紙1枚の中にこれらを書きました。

注)：部品とは、内容の要点、手順、箇条書き、表、写真、図のことです。

■「ルール6：書き方13（具体的な文を書く）」を試してみる

◆書き方13の考え方：文を読んだときその内容が頭の中に浮かんでくるような具体的な文を書くこと

*修正前 (Before)：ジョギングを1年間続けたので体重が大幅に減った。

*修正後 (After)：ジョギングを1年間続けたので体重が約10kg減った。

■ルール6：書き方16（短い文を書く）

◆書き方16の考え方：簡潔でスリムな短い文を書くこと（一文一義で書く）

*修正前 (Before)：明日の朝10時から、来年度に向けての営業会議を予定しているが、今年度は、会社の売上げが約30%減少したので、営業会議ではその原因を分析するとともに分析結果に基づき来年度の営業戦略を考える。

*修正後 (After)：明日の朝10時から、来年度に向けての営業会議を予定している。今年度は、会社の売上げが約30%減少したので、営業会議ではその原因を分析するとともに分析結果に基づき来年度の営業戦略を考える。

一文一義とは、一文の中に1つのこと（事柄）だけを書くことです。修正前では、「・・・予定しているが」と接続助詞の「が」を使って2つのことを一文で書きました。修正後では、接続助詞の「が」を使わずに2つのことを別々の文で書きました。

ここでは、7つの書き方の使い方の例を解説しました。これらの結果から「6つのルールと18の書き方」を使うことで内容が明確に伝わるのがわかります。

以 上